

＼運動・スポーツの大切さを科学的に解説！

## 東京オリンピックのレガシーとは？

国際オリンピック委員会は、オリンピックの開催国や都市に“ポジティブ”な遺産「レガシー」を残すことを推奨しており、①スポーツ、②社会、③都市、④環境、⑤経済、の5つの観点から評価しています。

1964年に開催された東京オリンピックの際にも、多くの「レガシー」が残されました。例えば、新たな競技場が建設され、高速道路や地下鉄、上下水道などのインフラも整備されました。また、金メダルを獲得した「東洋の魔女」に感激した女性による「ママさんバレー」が全国的に行われ、生涯スポーツ（社会体育）が普及しました。

2020年には2度目の東京オリンピックが開催されますが、スポーツをする機会を提供することや、緑地を増やして生活環境を良くすることなど、既に新たな「レガシー」を残す計画が進められています。オリン



ピックは、選手の活躍によって感動することに留まらず、開催国や都市の住民がより豊かな生活を送るための起爆剤となるのです。

つなげよう！ ぼくらの未来に レガシーを！

＼コラム！ クローズアップ体育

## タグラグビーをご存じですか？

保護者の方で、子供の頃にサッカーとバスケットボールを体育授業で経験していない人はいないと思います。なぜだかご存じですか？ それは文部科学省が示す学習指導要領に、この2つのボール運動を実施するように明記されていたからです。

しかし、2008年に示された学習指導要領では、これらに替えて他のボールゲームも実施して良いとされました。つまり、保護者の方がプレーしたことがないボール運動をお子様実践している可能性があるのです。

例えば、タグラグビーをご存じですか？ これはラグビーを簡易化したボール運動です。タックルの代わりに、腰につけた「タグ」と呼ばれる帯を取ることで、相手の前進を止めることがで



きます。「しっぽ取りオニ」が発展したようなボール運動です。

この例のように、お子様は多種多様なボール運動を行っています。ぜひ、「体育で、どんなボール運動をしている？」と話題にしてください。もしかしたら、保護者の方が昔行っていたスポーツの簡易版を実践していて、会話が盛り上がるかもしれませんよ。